

新規作物導入試験（加工用さつまいも）

帯広大正農業協同組合
帯広市農政課農産係
帯広市農業振興公社生産技術部

1 目 的 加工用さつまいも栽培の適正施肥量を検討する。

2 試験場所 帯広市農業技術センターほ場

3 栽 培 法

(1) 供試品種 へにはるか

(2) 供試面積 136㎡

(3) 耕種概要

土壌区分	土性	熱水抽出性窒素	前作	切り苗増殖	定植	栽植密度	定植方法	収穫
沖積土	壤土	6.09 mg/100g	大豆	4/18 ～6/7	6/7	144cm× 35cm (1984本 /10a)	斜め植	10/2

※ 苗床は、15-15-15g/㎡施肥し、1m幅の平畝ベッド、グリーンマルチ。

※ 切り苗を株間 20cm、畦間 20cm、切り口から 4 節を植え付け。

※ 展開葉が 9 節以上のわき芽を苗として使用。

(4) 処理区分

処理区	肥料名		施肥成分量 (kg/10a)			
	基 肥 (kg/10a)	追肥 (kg/10a)	窒素	燐酸	加里	苦土
道ガイド区	S121 50.0	—	5.0	10	15	1.5
窒素 50%+追肥区	S121 25.0 高度燐特号 12.2 硫酸加里 25.0	硫安 11.9	5.0	10	15	0.75
チッ素 50%区	S121 25.0 高度燐特号 12.2 硫酸加里 25.0	—	2.5	10	15	0.75
無肥料+追肥区	—	硫安 11.9	2.5	0	0	0
無肥量区	—	—	0	0	0	0

- ※ 追肥区は7月2日(20～30日後を目処)畦間に施用。
 ※ 2反復とする。

4 試験結果

- ① 定植後14日目に新葉が出ていない株は枯死したと判断し、6月21日に補植を行ったが、苗の活着状況に区間差は認められなかった。
- ② 移植後、病害虫の発生はほとんど認められなかったが、収穫間際にエビガラスズメの発生が確認された(防除を必要とするほどではなかった)。
- ③ 除草剤は使用せず、マルチ間の中耕2回、抜き草を1回実施した。
- ④ 総収量は、窒素半量区>窒素半量+追肥区≥無肥料+追肥区>無肥料区>道ガイド区、規格内収量は、窒素半量+追肥区>窒素半量>無肥料+追肥区>道ガイド区>無肥料区であったが、反復間の差が大きく、処理区間の差は判然としなかった。
- ⑤ 規格内率は67%～98.9%と処理区間差が大きかったが、反復間の差も大きかった。
- ⑥ 総合的に判断すると、本試験では窒素施肥量、追肥の有無による収量差品質差は確認できなかった。

5 収量調査結果

(1) 収量調査結果

① 収量比較(1区5株 2反復 10a換算)

	収穫個数	規格内 個数	規格外 個数	規格内 収量	規格外 収量	総収量	規格内率	平均 1個重	標準 偏差
道ガイド区A	7,142	4,365	2,778	942	371	1,313	95.8%	348	129
道ガイド区B	4,365	3,174	1,190	1,457	64	1,521	71.8%	184	184
チッ素半量+追肥区A	7,539	5,158	2,381	1,521	234	1,755	92.2%	230	147
チッ素半量+追肥区B	5,952	4,762	1,190	1,263	108	1,370	86.7%	233	181
チッ素半量区A	9,126	6,349	2,778	1,162	543	1,705	87.3%	205	163
チッ素半量区B	7,936	4,365	3,571	1,423	207	1,629	68.1%	187	165
無肥料+追肥区A	7,539	5,952	1,587	1,490	110	1,600	74.4%	189	178
無肥料+追肥区B	7,539	3,174	4,365	1,059	364	1,423	93.1%	212	219
無肥料区A	6,349	4,365	1,984	971	486	1,457	90.6%	222	0
無肥料区B	6,746	4,365	2,381	1,355	141	1,496	66.6%	230	0

※ 規格外は80g未満の個体と、変形・丸芋など大正農協選果基準に基づく

② 規格別収量比較（1区5株 2反復 10a換算）

	2S	S	M	L	2L	3L	4L	規格外	規格内 収量
	80～130g	130～250g	250～350g	350～500g	500～700g	700～900g	900g以上		
道ガイド区A	36	467	230	0	209	0	0	371	942
道ガイド区B	0	158	100	140	737	321	0	64	1457
チッ素半量+追肥区A	89	364	246	303	222	296	0	234	1521
チッ素半量+追肥区B	130	251	380	0	203	298	0	108	1263
チッ素半量区A	175	668	319	0	0	0	0	543	1162
チッ素半量区B	37	337	237	331	480	0	0	207	1423
無肥料+追肥区A	198	190	474	171	458	0	0	110	1490
無肥料+追肥区B	0	215	257	347	240	0	0	364	1059
無肥料区A	96	426	116	333	0	0	0	486	971
無肥料区B	0	402	338	0	0	615	0	141	1355

(2) 2区平均（10a換算）

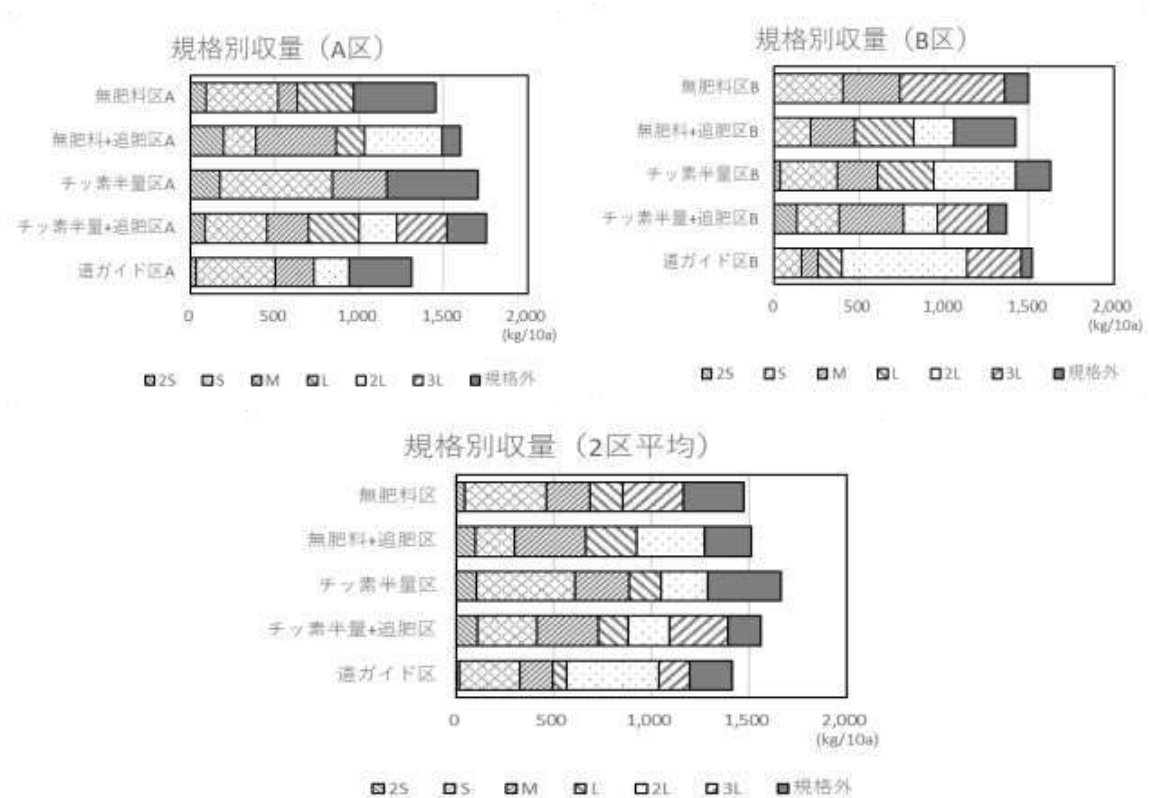
① 収量比較（2区平均）

	収穫本数	規格内 本数	規格外 本数	規格内 収量	規格外 収量	総収量	規格内率	平均 1個重	標準 偏差
道ガイド区	5,754	3,770	1,984	1,200	217	1,417	84%	266	208
チッ素半量+追肥区	6,746	4,960	1,786	1,392	171	1,563	89%	232	185
チッ素半量区	8,531	5,357	3,174	1,292	375	1,667	78%	196	164
無肥料+追肥区	7,539	4,563	2,976	1,275	237	1,512	84%	201	165
無肥料区	6,547	4,365	2,182	1,163	314	1,477	79%	226	200

※ 収量は kg/10a

② 規格別収量比較（2区平均）

	2S	S	M	L	2L	3L	4L	規格外	規格内 収量
	80～130g	130～250g	250～350g	350～500g	500～700g	700～900g	900g以上		
道ガイド区	18kg	312kg	165kg	70kg	473kg	161kg	0kg	217kg	1,200kg
チッ素半量+追肥区	110kg	308kg	313kg	152kg	213kg	297kg	0kg	171kg	1,392kg
チッ素半量区	106kg	503kg	278kg	166kg	240kg	0kg	0kg	375kg	1,292kg
無肥料+追肥区	99kg	202kg	365kg	259kg	349kg	0kg	0kg	237kg	1,275kg
無肥料区	48kg	414kg	227kg	166kg	0kg	308kg	0kg	314kg	1,163kg



10月2日 収量調査 (A区)
(上から無肥量区、無肥料+追肥区、窒素半量区、窒素半量+追肥区、道ガイド区)